別添－３（付帯構造物設置工）

ＩＣＴ活用工事（付帯構造物設置工）計画書

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| チェック欄  ※実施項目に☑ | 施工プロセス　　　の段階 | 作業内容 | | 採用する技術番号 | 技術番号・技術名 |
| □ | ①３次元起工測量 |  | |  | １．空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量  ２．地上型レーザースキャナーを用いた起工測量  ３．TS等光波方式を用いた起工測量  ４．TS（ノンプリズム方式）を用いた起工測量  ５．ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量  ６．無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  ７．地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  ８．その他の３次元計測技術を用いた起工測量  〔８．を選択した場合の技術名称： 〕 |
| □ | ②３次元設計データ作成 |  | | | ※３次元出来形管理に用いる３次元設計データの作成であり、ＩＣＴ建設機械にのみ用いる３次元設計データは含まない。 |
| □ | ~~③ＩＣＴ建設機械に よる施工~~ |  | | |  |
| □ | ④３次元出来形管理等の施工管理 | □ | 出来形 |  | １．TS等光波方式を用いた出来形管理  ２．TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理  ３．空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理（経費補正適用）  ４．地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理（経費補正適用）  ５．無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理（経費補正適用） ６．地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理（経費補正適用） ７．上記３）～６）に類似する３次元計測技術を用いた出来形管理（経費補正適用）  〔７．を選択した場合の技術名称： 〕 |
| □ | ⑤３次元データの納品 |  | | |  |

注１）ＩＣＴ活用工事の詳細については、「ＩＣＴ活用工事（付帯構造物設置工）試行要領」及び特記仕様書によるものとする。□

注２）採用する技術番号欄には、複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。

（「採用する技術番号」欄の記載例 ： 「１」，「１，３」）

注３）①、④において、「その他の・・・」を選択した場合は、その技術名称を記載すること。

注４）一部活用の場合は、下表にあるタイプを採用すること。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 施工プロセス区分 | ＩＣＴ  全活用 | ＩＣＴ  一部活用 |
| １）３次元起工測量 | 〇 | － |
| ２）３次元設計データ作成 | 〇 | 〇 |
| ３）ＩＣＴ建設機械による施工（該当なし） | － | － |
| ４）３次元出来形管理等の施工管理 | 〇 | 〇 |
| ５）３次元データの納品 | 〇 | 〇 |